

全国の学校で見られる「メディアでのトラブル例」

先日行われた「非行防止教室」でもメディアトラブルの例について詳しく講師の方にお話をいただきましたが、今現在、全国の学校で見られている「メディアでのトラブル」実際例を掲載しています。

こうした例は今この学校でも、いつ起きてもおかしくない状況があります。またトラブル発生の際に親が知らなかったということがほとんどです。ネット上には小中学生をターゲットとして狙っている人が多くおり、オレオレ詐欺のようにわかっているつもりが被害にあうという小中学生が後を絶ちません。

トラブルに巻き込まれないためにも、家庭でのメディア（スマホやゲーム）使用やルール作りに関して、ご家族で話し合いをお願いします。

<全国の学校で起こっているメディアでのトラブル例>

①個人情報に関して

- ・SNS上に名前、学校名、部活動、写真などの情報を気軽に掲載してしまう。
- ・自分が写っている写真が加工されネット掲載されているが、本人は知らない。
- ・学校名などから中学生であることが検索され、なりすまし（大人の男性）から脅しに合う。
- ・友達のスマホを使い、大人とSNS交流したり、友達の個人情報をネットに流したりする。



②ネット上での悪口・中傷

- ・グループにいない生徒の誹謗中傷で盛り上がる。
- ・友達を撮影した写真を加工してネットに載せたり、悪口を書き込んだりする。
- ・ネット上で悪口が拡散されて、友達関係が壊され、相談相手がいなくなり、学校に行けなくなる。
- ・身に覚えのないことからの中傷や嫌がらせが起こり、いじめが起こる。

③ネット上での対人トラブル

- ・SNSで出会った遠方の学生(?)や中学生(?)とネット交際をする。(なりすましが多い。)
- ・ネット交際している相手から迫られて裸の画像を送ってしまい、学校の生徒に画像を拡散される。
- ・ゲームなどのアイテムをもらった代償として、住所や写真などの個人情報を送るように強要される。
- ・グループから仲間外れにされることなどを理由に、夜遅くまで長時間にわたりゲームをする。
- ・ゲーム等で仲良くなった人物に実際に会ってトラブルになる。



④金銭関係のトラブル

- ・いらなくなった物やゲームなどをネットで売り、現金や電子マネーを得る。
- ・親のIDやパスワードを使って、ゲームサイトに入りゲームをしたり、物の売買をしたりする。
- ・ゲームグループ内での自分の立場を維持するためにアイテムを多額の課金をして購入する。

